学びを、AIと使える形に。

無料4回講座 / 実践ガイド

この4回で取り組むこと

自分の学びや経験を材料に、AIへ頼む目的を整理し、届ける相手を選び、資料の下書きを作り、次の一歩につなげます。研究をまとめたい方も、仕事に活かしたい方も、自分の目的から始めてください。

使い方

各回の動画を見た後、問いに一つ答えてください。AIを契約していなくても、講師の実演を見るだけ、紙に書くだけで取り組めます。すでに使えるAIがある方は、自分が利用してよい短いメモで試してください。

収録と編集について

2026年10月28日の「天聞 AI実践特別講座」を4つのテーマに再編集した教材です。順序や待ち時間を整理しています。画面やサービスの機能、料金、契約条件は収録当時のもので、利用時に各サービスで確認してください。

資料の読み分け

講師の研究観・カタカムナの応用は天聞の解釈です。一般的なAI活用の手順や、原資料そのものとは区別してください。このガイドの入力例は架空の練習用で、受講者の成功事例ではありません。

01 整理する

学びを、AIへ渡せる材料にする

講義の要点

何を知りたいのか、何を残したいのか、保存先はどこかを言葉にします。大きな資料は範囲を分け、原文・要約・自分の解釈・未確認事項を別々に残します。保存を頼んだだけで完了とは考えず、実際の保存先を開いて確かめます。

短い入力例

私のメモ：「夜に翌日の持ち物を用意すると、朝の探し物が減った気がする」。まず観察した事実と私の感想を分けてください。不足は質問してください。事実や効果を作らないでください。

出力の見本（架空）

観察：前日に持ち物を準備した。感想：朝の探し物が減った気がした。未確認：何日試したか、減った回数、他の条件。次に聞くこと：いつ、何を準備しましたか。

自分で書く

今回整理したいメモ・経験は何ですか。どの形で残したいですか。

材料：_____

目的・保存先：_____

人が確かめる

AIの出力にも誤りや偏りがあります。出典のページ、実際の記録、元の言葉と突き合わせます。個人情報や非公開資料は不用意に入力しません。

02 選ぶ

自分の経験を、誰に届けるか

講義の要点

知識の量だけでなく、自分が経験したことと相手の必要を考えます。仕事にするか、研究を残すか、仲間に伝えるかは本人が選びます。相手の困りごとは、確認できるまでは仮説として扱います。

短いプロンプト

次の経験を役立てられそうな相手を3案出してください。相手の困りごとは仮説と明記し、聞き取りの質問を各1つ付けてください。実績や需要を創作しないでください。経験：【自分の経験】

入力・出力の見本（架空）

入力：翌日の準備を短いメモで続けた経験。
出力案：朝の支度を見直したい人。仮説：持ち物を探す時間が気になる。聞くこと：「朝、準備で困る場面はありますか」。困っていると決めつけずに聞きます。

自分で選ぶ

届けたい相手：_____

確かめたい困りごと：_____

相手に聞く一問：_____

人が確かめる

相手を不安にさせる言葉や、根拠のない「必ず」「誰でも」を外します。独自性は、事実と経験に根ざす自分の視点として表現します。

03 形にする

伝えたいことを、PDFの下書きへ

講義の要点

実演では、整理した情報から初めての方へ渡すPDFの下書きを作ります。目的、読み手、長さ、入れたい内容を伝え、出力を見て修正します。見た目が整っていても、事実や権利の確認は別に必要です。

短いプロンプト

私が書いたメモだけを使い、初めての方に渡すA4・1枚の資料案を作ってください。見出しは3つ。観察と解釈を分け、未確認は明記。不足は質問してください。実績・効果・引用を創作しないでください。
材料：【自分のメモ】

出力の見本（架空）

題名：翌日の準備を、小さく試すメモ
見出し：①自分が試したこと ②自分が気づいたこと ③あなたが試すなら。
「朝が必ず変わる」などの成果保証は入れません。

自分で書く

資料の題名：_____

入れる見出し：①_____

②_____ ③_____

人が確かめる

引用と自分の解釈を区別し、必要な出典と利用範囲を確かめます。他人の書籍や非公開資料を、そのまま配れると判断しません。実際にPDFを開いて文字切れも確認します。

04 育てる

資料と、人とのつながりを続ける

講義の要点

届ける資料、登録の入口、案内メール、小さな対話や講座を、一つの流れとして考えます。最初は少人数でも、相手の反応を記録し、内容や届け方を直します。人数や売上が増えることを保証する方法ではありません。

短いプロンプト

この資料を必要とする方に届ける小さな試し方を3案ください。私の条件：【時間・費用・使える道具】。配信は同意のある相手に限ります。公開や送信はせず、私が確認する箇所を示してください。

実行例（架空）

相手に連絡してよいことを確認 → 資料案を見てもらう → 分かりにくい点を一つ聞く → 修正する。講座や販売を始める場合は、日時・料金・申込み・案内・中止条件などを別に整えます。

自分で決める

次に試す一歩：_____

いつ・誰に：_____

何が分かれば次へ進めるか：_____

人が確かめる

登録時に何が届くかを伝え、配信停止をできるようにします。返事がない場合は「反応未取得」と記録し、好意的な感想と購入の意思を混同しません。

1枚の実践シート

自分のテーマを、一つ選んで記入します

自分の学び・経験

_____

_____

届けたい相手と、確かめたい困りごと

相手：_____

困りごと（未確認なら仮説）：_____

届ける価値・作りたいもの

_____

_____

小さな発信・体験会の案

_____

_____

試す一歩と反応の記録

いつ・何をする：_____

相手の言葉・確認できた事実：_____

次に直すこと：_____

届ける仕組みの見取り図

自分に必要な範囲から、小さく整えます

研究を残す場合

自分の資料 → 出典と内容の整理 → AIとの対話 → 人が確認 → ノートやPDFへ保存 → 後で開き、使えるか確かめる。公開や販売をする必要はありません。

人に伝える場合

小さな発信 → 興味を持つ方の登録 → 資料や動画を届ける → 対話・感想 → 内容を改善する。登録と配信は本人の同意を確認します。

仕事に活かす場合

上の流れに加え、何を提供するか、価格、申込み、決済、参加案内、問い合わせ対応を整えます。外部ツールは必要な部分から選びます。

今回の無料講座で体験する流れ

登録 → 4回の動画とPDF → 自分のテーマで小さく実践 → 希望する方は本講座の内容・条件を確認。無料教材の受取りと、有料講座への申込みは別です。

公開・送信前の5点確認

①事実・出典・解釈を分けたか。
②初めての相手にも伝わる言葉か。
③誇張や成果保証をしていないか。
④個人情報・引用・著作権を確認したか。
⑤次に何をすればよいかが明確か。

自分のテーマで、実践を深めたい方へ

天聞AI 実践構築プログラムのご案内

本講座で取り組むこと

自分の強みと届けたい価値を整理し、紹介LP、申込み・決済への案内、継続して届けるメールなどを、AIと一緒に制作してつなげていく全4回の合同講座です。講義の間には本人の実践があります。

日程と受講料

2026年11月18日・12月16日、2027年1月20日・2月24日。各回13:00〜15:00予定（日本時間）。受講料165,000円（税込）。アーカイブあり。

確認してから、お選びください

AIや外部ツールの契約・利用料は別途です。専用AI・TENMON-ARKの利用権、制作運用代行、無制限の個別相談は含まれません。売上・集客・システム完成は保証しません。サポートや視聴期間など、正規LP・申込フォームの最新条件を確認して判断してください。

正規LP

https://yatanokagami.com/tenmon-ai-practice-program/

このガイドについて

出典：天聞「AI実践特別講座」2026年10月28日収録。第1回は元動画00:01・00:12・00:18〜00:34付近、第2回は00:34〜01:01、第3回は01:06〜01:27、第4回は01:13〜01:44の該当部分を再編集。本ガイドは編集上の整理と架空の練習例を加えています。